FULL HEIGHT DOOR®

INSET MODE　インセット枠

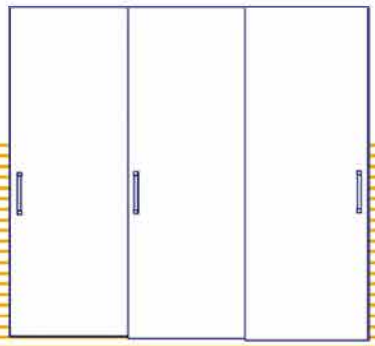
フルハイトドア®

施工手順書

3 枚引違い戸【上吊 + 床付非連動タイプ】

3 枚引違い戸

上吊 + 床付非連動タイプ



kamiya

作成：2013年6月1日
改訂：2021年1月22日

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください

⚠注意

● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

○ 枠･下地枠の取付は、水平･垂直･ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
○ 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。

●ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

○ 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。
○ 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。

● 施工前及び施工時の確認

○ 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
○ 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった
施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
○ 高温･高湿の環境条件では使用できません。
○ 施工前に部材の数量･キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
○ 部材を保管する場合は湿気･直射日光を避け、十分な養生をしてください。
○ 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
○ 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
○ 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
○ 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ･破損･色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

○ お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
○ 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
○ 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
○ 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

kamiya
Full Height Door

□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・非連動タイプ)

forインセット枠

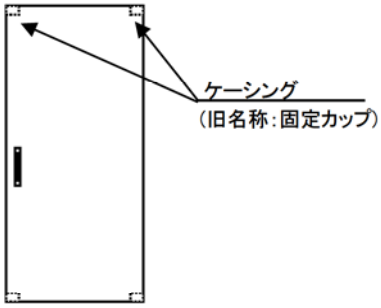
施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具

部材	数量	備考
引き戸	3枚	引手取付済み(スリット手掛けタイプはなし) ケーシング取付済み 戸車取付済み



同梱品

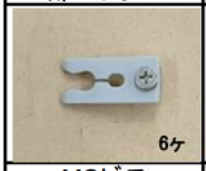
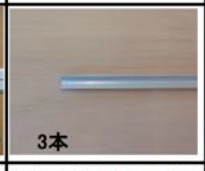
（注）
3枚引き違い戸・非連動タイプの上ローラーには、跳ね上がり防止ナットが付いておりません。跳ね上がり防止ナット付きを使用した場合、上部ストッパー干渉する恐れがあります。

（注）
エンドプレートは2サイズありますのでご注意ください。
ポケット戸用（A＝25mm）と、片引き戸用を含むその他の引き戸用（A＝23mm）です。
取付ける際は引き戸の種類とエンドプレートのサイズをご確認ください。

インセット枠

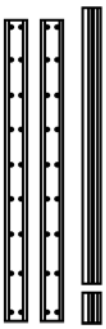
部材	数量	備考
縦枠	2本	

同梱品

上レール	エンドプレート	上ローラー	化粧キャップ
3本（付属ビス含む）	（注） A 6ヶ（ビス6本付）	（注）非連動専用 6ヶ	6ヶ
上部ストッパー	**床付レール（面付）**	**床付レール（埋込V）**	
 6ヶ	3本（付属ビス含む）	 3本	
MSビス	**ビスキャップ**	**六角レンチ（3枚引込み戸の場合）**	
H24 10本 H27 12本 1セット	H24 10ヶ H27 12ヶ 1セット	φ10 1本、φ8 1本	

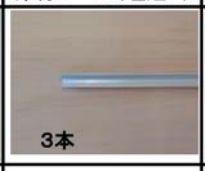
下地枠

部材	数量	備考
縦枠下地	2本	
上枠下地	1本(2本)	W24サイズは2本に分割されています



※開口定規は同梱されておりません。
※上枠下地は2421mm以上の場合2分割されています。

同梱品

施工手順書	床付レール（埋込V）		
	 3本		

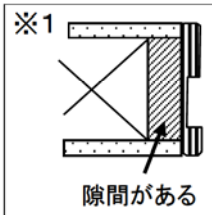
□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・非連動タイプ)

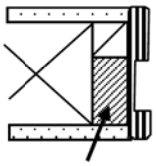
forインセット枠

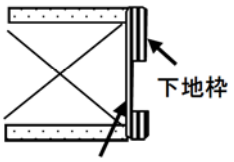
施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

1-1 施工前の確認事項

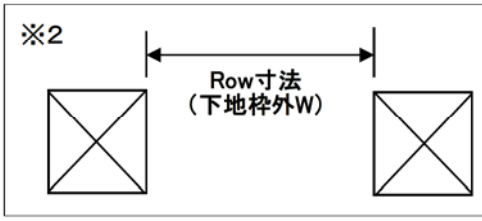
① 下地枠を取り付ける前に、開口部の巾（図面：ＲＯＷ寸法）と、高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。（縦枠下地は、床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）







	×	×	○	



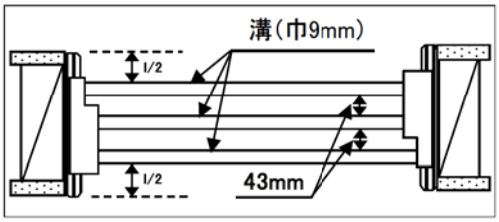
開口の確認

注意

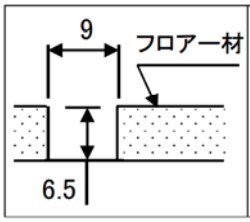
※1: 下地枠は躯体（構造材）と面接合する様に取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
※2: 開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

1-2 施工前の確認事項（床付レール（埋込Ｖ）取付の場合）

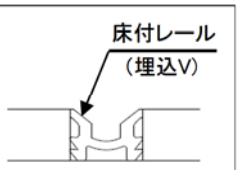
① 床付レール（埋込Ｖ）を床に取り付ける場合、右図の所定位置に、床付レール（埋込Ｖ）を埋め込む溝を確保してください。縦枠面から縦枠面まで、巾9mm深さ6.5mmの溝を３本確保してください。



床付レール（埋込Ｖ）の取り付け溝位置



床付レール（埋込Ｖ）
の取り付け溝断面



床付レール（埋込Ｖ）
納まり図

注意

※床付レール（埋込Ｖ）がきつく入らなかったり、緩くて外れてしまわないように、床付レール（埋込Ｖ）を埋め込む溝の巾は指定の寸法9mmを守ってください。また、段差が出来ないように、溝の深さも指定の寸法6.5mmにしてください。
※床付レール（埋込Ｖ）を埋め込む溝は、縦枠面から縦枠面までとなります。縦枠面に段差があるため、３本の溝の初めと終わりの位置が異なりますので、縦枠を仮合わせてご確認ください。

□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・非連動タイプ)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成

改訂2021/1

2 縦枠下地の取り付け

① 縦枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。（壁厚の真ん中に取り付けてください）

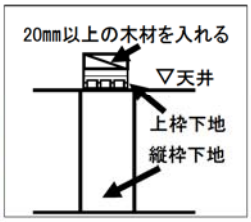
下地裏面に接着剤全面塗布	下地表よりビス固定	ビス固定の方法 ×	ビス固定の方法 ○

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

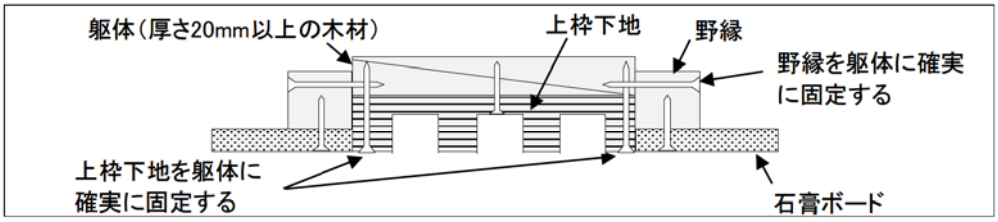
3-1 上枠下地の取り付け（上枠勝ち納まりの場合）

① 上枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取り付け位置は、縦枠下地と同様に壁厚の真ん中に取り付けてください。(縦勝ちに納まります)
その際、上枠下地の裏側には20㎜以上の木材を入れてください。



下地裏面に接着剤全面塗布	縦枠勝ちに納める	下地表よりビス固定	上枠下地の裏には 20㎜以上の木材を入れる

② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してしてください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。



石膏ボードの厚さ分を確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁に石膏ボードを取付ける

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。
※上枠下地の裏側には、必ず20㎜以上の木材を入れてください。
※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。
※縦枠下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。

□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・非連動タイプ)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

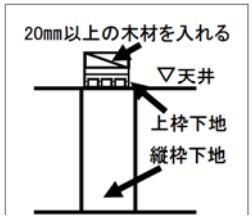
3-2 上枠下地の取り付け（天井ボード勝ち納まりの場合）

① 上枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取り付け位置は、縦枠下地と同様に壁厚の真ん中に取り付けてください。(縦勝ちに納まります)
その際、上枠下地の裏側には20㎜以上の木材を入れてください。

下地裏面に接着剤全面塗布

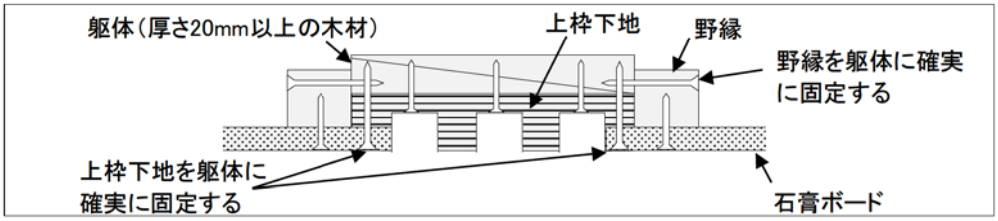
縦枠勝ちに納める

下地表よりビス固定



上枠下地の裏には
20㎜以上の木材を入れる

② 野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してしてください。
その後、石膏ボードをレール溝に合わせて野縁と上枠下地に固定してください。



石膏ボードの厚さ分を確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁と上枠下地に石膏ボードを取付ける

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします)
※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。
※上枠下地の裏側には、必ず20㎜以上の木材を入れてください。
※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。

4 巾木・クロス施工

① 巾木を接着剤にて、縦枠下地のシャクリ部分の手前までまわしてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)

接着剤全面塗布

巾木の取り付け方

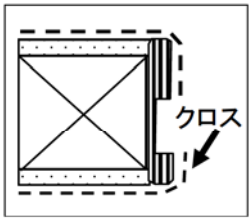
巾木の取り付け方
×

巾木の取り付け方
○

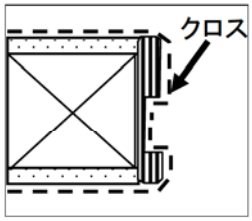
② パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。（メッシュ＋下塗り＋上塗りをお奨めします）
その際に、下地のシャクリ部分までクロスを巻き込んでください。

メッシュテープ貼り

パテ処理



クロスの貼り方
×



クロスの貼り方
○

注意

※上枠下地の上レール溝部分は、クロスを貼り伸ばして上レール溝に巻き込んでください。

□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・非連動タイプ)

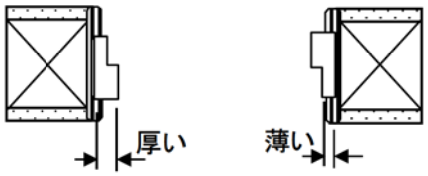
forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

5 インセット枠の取り付け

① インセット枠を下地のシャクリ部分にはめ込み、同梱のＭＳビスにて枠を固定します。(向かって左側はインセット枠断面が厚い方、右側は薄い方)
全てのビス固定が終わったら、手動ドライバーで手締めして完全に固定してください。

インセット枠固定
(ＭＳビス)



インセット枠の向き
向って左側が厚い方、右側が薄い方

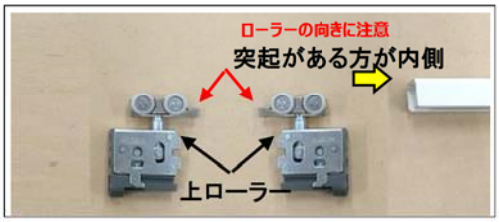
手動ドライバーで完全に固定

注意

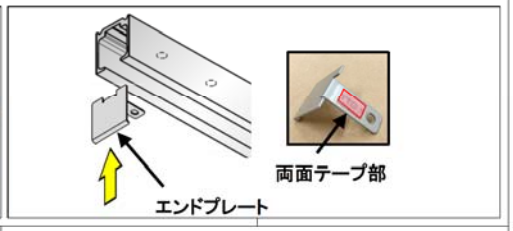
※インセット枠は正寸カットにて出荷していますので、現場にてカットしないでください。(床仕上面よりの立ち上りとなります)

6 上レール・上部ストッパーの取り付け

① 上レールを取り付ける前に、あらかじめ上ローラーと上部ストッパーを上レール内部に入れてください。
上レール端部にエンドプレートを両面テープで仮止めしてください。付属の取り付けビスで、上レールとエンドプレートを固定してください。



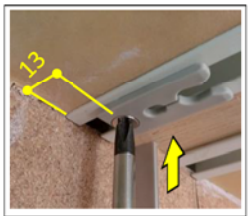
上ローラーを上レールに入れる



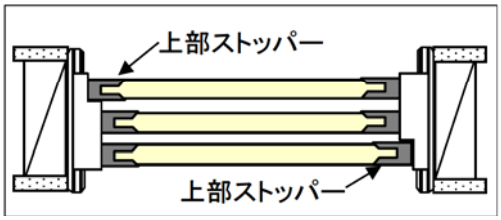
エンドプレートを両面テープで仮止めし、
上レールと一緒に固定する

② 上部ストッパーを3枚の建具すべての上レール戸先側・戸尻側に取り付けます。(上レール端部から上部ストッパーのビスセンターまで、13㎜の所に取り付けてください)
金物は別途梱包にあります。

上部ストッパーの取り付け



最後の締め付けは
手動ドライバーで行う



上部ストッパーの取り付け位置

注意

※上ローラーの向きに注意してください。（突起がある方が内側）
※上部ストッパーは上レールにつめがかかるようにして締めつけてください。
※締め方が弱いと、建具の開閉時に上部ストッパーが動いてしまうことがありますので注意してください。
※ビスを締め付けすぎると上部ストッパーが破損しますので、最後の締め付けは必ず手動ドライバーで強く行ってください。

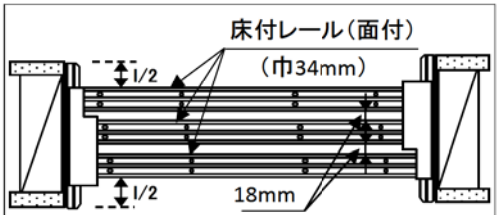
□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・非連動タイプ)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

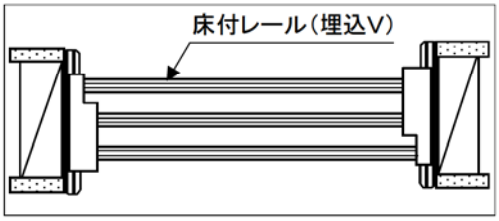
7 床付レールの取り付け

① 床付レールを床に取り付けます。右図の所定位置に、付属のビスで取り付けてください。(長さは長いもの2本と、短いもの1本がありますので、取り付けを間違わないでください)
金物は別途梱包にあります。
ビスの取付順は、中央から始め両端側に止めて行ってください。



床付レール（面付）の取り付け位置

② 床付レール（埋込Ｖ）の場合
床付レール（埋込Ｖ）に当て木をして、溝に埋め込んでください。
床付レール（埋込Ｖ）の長さが短いものが中央、長いものが内外側になります。



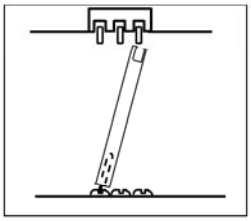
床付レール（埋込Ｖ）の取り付け位置

注意

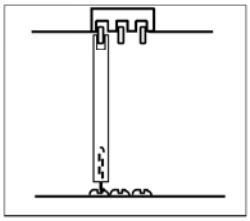
※床付レールは3本(長いものが2本、短いものが1本)ありますので、取り付けを間違わないでください。
※床付レール（面付）の取り付けの際、ビスを締め付けすぎるとレールが変形する恐れがありますので、最後の締め付けは必ず手動ドライバーで行ってください。
※床付レール（面付）の場合、床材の伸縮によりレールが浮いた時は、一度取外して再取付してください。その際、必要に応じレール裏面に両面テープを付けてください。
※床付レール（埋込V)の溝巾が広くなってしまい、レールが外れてしまう場合には、両面テープ（現場手配品）をレールの底面に貼り付けて対応してください。

8 建具の吊り込み

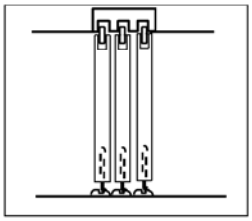
① 奥の建具から下部床付レールの溝に戸車をはめ込み、建具を起こしていきながら上レールの上ローラーと、建具のケーシングを連結させます。(右手前になるように吊り込んでください)



真ん中の建具を下部床付レールの溝にはめ込む



上ローラーと建具のケーシングを連結させる

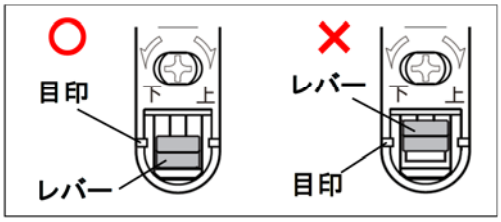


3枚共建具を吊り込む

② 上ローラーとケーシングを連結する際には、必ず最後まではめ込み、パチンという音を確認してください。

ケーシングと上ローラーを連結する

パチンの音を確認



上ローラーのレバーの位置を確認する

注意

※建具を持ち上げる際は天井に建具がぶつからない様に気を付けてください。
※上ローラーとケーシングは、パチンと音が鳴るまで連結させてください。最後まで入っていないと、使用中、外れる恐れがあります。
※上ローラーを取り外す際、素手で外れない場合は、プライヤー等工具を使用し取り外してください。
※ソフトクローズ機能は付いておりません。
※建具の開閉は、勢いよくやりすぎると金物が破損する可能性があるので注意してください。

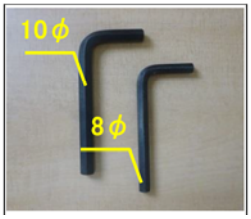
□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・非連動タイプ)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

9 ＭＳ金物の調整

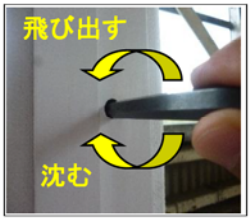
① 枠内寸法を確認し、戸先側のインセット枠に内蔵してあるＭＳ金物を、８φの六角レンチにてロックを解除します。



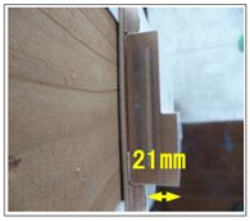
六角レンチ

ロック解除（8φ）

② 調整は10φの六角レンチで巾方向の調整を行います。(±2.0㎜)その際、枠の出荷時の見付寸法はクロス後、23㎜の設定ですので、21～25㎜の範囲で調整してください。(25㎜以上飛び出すと嵌合しなくなり、はずれる恐れがあります)調整後は8φ六角レンチにて、必ずロックしてくださ



左右の調整（10φ）
(±2㎜)



引っ込めた状態
(見付21㎜)

飛び出した状態
(見付25㎜)

ロック（8φ）

注意

※枠出荷時にはロックが掛かっていますので、必ずロックを解除して調整を行ってください。また、解除時に45°以上は回さないでください。
（ロックを解除しないで調整を行うと、MS金物が破損する恐れがあります）

10 上ローラーの調整

① 吊り込み後に上ローラーにて調整をする際は、上下調整は下側のネジ、左右調整は上側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。

上ローラー
上下の調整

上ローラー
左右の調整

【調整範囲】
上方向3.0㎜
下方向4.0㎜
左右方向±2.0㎜

注意

※調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。
※戸先側と戸尻側の木口で調整方法が反転しますので、ご注意ください。

□３枚引違い戸(上吊＋床付レール・非連動タイプ)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成
改訂2021/1

11 下部戸車（面付レールの時）の調整

① 戸車にて調整を行う際は、上下調整は真ん中のネジ、左右調整は下側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。

【調整範囲】
上下方向+6mm、-0mm
左右方向±2mm

戸車の調整

注意
※調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。 **※戸先側と戸尻側の木口で調整方法が反転しますので、ご注意ください。** **※戸車の調整は全ての建具で行えます。**

12 化粧キャップ・ビスキャップの取り付け

① 全ての調整を終えたら、化粧キャップを取付けてください。外す場合は、化粧カバーの溝にマイナスドライバー等を差し込み外してください。

化粧キャップを取付ける

※化粧キャップを外す場合
化粧キャップの溝にマイナスドライバー等を差し込み外す

② 最後に、同梱のビスキャップをインセット枠の穴にはめ込みます。すべての穴に取り付けてください。

ビスキャップの取り付け

注意